

月刊

# 登記情報

60<sup>th</sup>  
Anniversary  
おかげさまで60周年

分かりやすい誌面で登記関連実務をサポート

**法窓一言** 「債務整理事件の処理に関する指針」の策定について

今川嘉典

国際会計基準(IFRS)の任意適用に関する会社計算規則の一部改正(会社計算規則の一部を改正する省令(平成21年法務省令第46号))の解説 黒田 裕

**重要判例ナビ**

本来の賃借権の範囲に属しない隣接地について賃借権の取得時効の成立が認められた事例(東京高判平18・11・28) 田中淳子

実務家による商業・法人登記Q & A (16・完)

商業法人登記総合研究5人委員会(担当:金子登志雄)

供託ねっと-実務から学ぶ供託-(第2回)

供託オンライン申請における事前準備について 手計佐和子

会社法登記実務の研究(6) 横山 亘

動産・債権譲渡登記の現場Q & A (第12回)

両登記申請共通問題(その2)

東京法務局民事行政部動産登録課・債権登録課

犯罪収益移転防止法と司法書士実務(第10回)

本人確認記録(その1)本人確認記録の原則的な記録事項 末光祐一

根抵当権の確定と登記(11) 大野静香

最近の土地境界確定判決を散策する(第8回) 山口智啓

**コンプライアンス道場(第34回)** 升田 純

**新連載** 先例問答

建物の表題登記のオンライン申請と登録免許税控除の適用〔平21・12・1民二第2853号〕

BOOK REVIEW 『商業・法人登記300問』(神崎満治郎・金子登志雄・鈴木龍介編著)

内藤 卓

**通達・回答**

●不動産登記●商業・法人登記●供託

商業登記掲示板/裁判実務フォーラム

581

2010年4月号

50巻/4号

☒ 社団法人 金融財政事情研究会



神崎満治郎・金子登志雄・鈴木龍介 編著  
『商業・法人登記300問』

商業・法人登記についての重要論点を漏れなく  
網羅した実務書

【評者】内藤 卓

株式会社テイハンから、平成21年12月、神崎満治郎・金子登志雄・鈴木龍介編著『商業・法人登記300問』が発刊された。本書は、商業登記の基本から実務上の諸問題まで必ず知っておきたい事項をピックアップして解説しており、同社刊『商業登記に強くなる本』（平成12年刊）の後継として、収録問題も300問と大幅に増えているものである。

会社法が平成18年5月1日に施行されてから早4年。施行前後においては、会社法上又は商業登記実務上の諸問題が次々に提起され、法的安定性及び具体的妥当性のバランスをとりつつ、解決が図られてきた。施行直後に比べると、もちろん安定化したものの、実務家にとっての悩みの種は、引きも切らない状況にある。本書は、これまでの実務の集積を整理したデータベースといえ、実務家にとって、座右の書として、必携というべきであろう。

編者は、神崎満治郎、金子登志雄、鈴木龍介という商業登記分野の大家が名を連ね、また執筆には、実務に詳しい新進気鋭の司法書士が結集しており、登記にとどまらず、会社法等の実体やビジネスの現場を想定した内容となって

いることから、疑問点は、一挙に解決するであろう。一問一答形式で、調べやすく、コンパクトな解説であるのも、実務家にとってはありがたい。

会社法→実体法、商業登記法→手続法と区分されがちであるが、商業登記実務は、会社法上の行為の完結点であり、会社法（実体法）の解釈について、行政先例という形で解決が図られ、一定の取扱いが定まることも多い。したがって、会社法実務に精通するためには、商業登記実務に精通することが不可欠といえ、そういった観点からも本書は、会社法実務家にとって、座右の書として、必携というべきであろう。

商業登記実務、ひいては会社法実務の安定を祈念して、本書を推薦する次第である。

（テイハン、A5判544頁・定価4,950円（税込））

（評者は司法書士）